ISSN-1348-8872

4M4MI News Letter

NO.23



■研究調査レビュー

魅せられて奄美-黒の宝島

「あまみ長寿・子宝プロジェクト」について

鹿児島県離島地域のごみ処理特性-与論町における調査を中心として

自然災害と行政の責任(3)

奄美ニューズレター 鹿児島大学 2005年10月

■ Research Review

- Under the Spell of the Amami IslandsHaraguchi Izumi (LEH)
- The Amami Project for Long-Life and Children
 Project Team, Kagoshima Prefectural
 Government
- Field research on waste management in the island areas of Kagoshima

 Sakata Yusuke (Economics, Kinki University)
- Local Administration Responsibility for NaturalDisasters (3)Uneme Hirofumi (Law School)

■Information

奄美ニューズレターについて

- 奄美ニューズレターは、2003年度からはじまった鹿児島大学全学総合プロジェクト「島嶼圏開発のグランドデザイン--- 南西諸島における環境ガバナンス型地域政策」の成果を発表する目的で発刊されました。
- 奄美群島および沖縄を含む広い南西諸島を沖縄ではなく、奄美群島から分析しようという新しい試みです。
- 研究は、文化・自然・人・経済・情報・農学・工学という鹿児島大学の研究者を中心とする研究グループによって行われております。奄美ニューズレターは、その研究を広く南西諸島の研究者に公開し、わが国の島嶼研究の向上を目指すものです。
- 奄美ニューズレターは、月刊の学術雑誌であり、下記の内容を毎号掲載いたします。
 - ・研究調査レビュー 鹿児島大学研究グループの成果発表
 - ・しまゆむた 奄美群島区の地元研究者からの現地レポート
 - ・島嶼スケッチ 上記以外の寄稿文

 - ・ちーびし 執筆者紹介, 奄美関連の行事案内, 編集後記
- 奄美ニューズレターの執筆研究グループは以下のメンバーです。 研究代表 山田 誠(法文) 編集代表 萩野 誠(法文)
- 島嶼のなかの人々、人々のなかの島嶼(資源としてのヒト)
 - ◎神田嘉延(教育)・小柳正司(教育)・狩野浩二(教育)・前田晶子(教育)
- 島嶼における情報ネットワーク(資源としての情報)
 - ◎萩野 誠(法文)·下園幸一(法文)
- 自然環境と開発ポテンシャルA(資源としての自然)
 - ◎北村良介(工学)・地頭薗隆(農学)・西隆一郎(工学)
- 自然環境と開発ポテンシャルB (環境保全型自立産業としての農業生産)
 - ◎菅沼俊彦(農学)・津田勝男(農学)・遠城道雄(農学)
- 〇 歴史の変容と開発
 - ◎新田栄治(法文)・乕尾達哉(法文)・原口 泉(法文)・中村直子(埋文)
- 産業・経済の変容と開発
 - ◎皆村武一(法文)・宮廻甫允(法文)・北崎浩嗣(法文)・山本一哉(法文)
- 〇 社会意識の変容と開発
 - ◎石川英昭(法文)・木村 朗(法文)・平井一臣(法文)・米田憲市(法科大学院)
- 〇 文化意識の変容と開発
 - ◎廣瀬晋也(法文)・木部暢子(法文)・桑原季雄(法文)・高津 孝(法文)
- 島嶼コミュニティと環境ガバナンス
 - ◎篠原隆弘(法文)・采女博文(法科大学院)・土居正典(法科大学院)・西啓一郎(鹿児島県庁)
- 島嶼圏政治行政システムと環境ガバナンス
 - ◎山田 誠(法文)・朴 源(法文)・坂田裕輔(近畿大学)・前利 潔(知名町)

目次

■研究調査レビュー	
魅せられて奄美-黒の宝島 原口 泉 (鹿児島大学法文学部)―――――	1
「あまみ長寿・子宝プロジェクト」について あまみ長寿・子宝プロジェクトチーム(鹿児島県)――	—3
鹿児島県離島地域のごみ処理特性 - 与論町における調査を中心として 坂田 裕輔 (近畿大学経済学部)	—12
自然災害と行政の責任(3) 采女 博文(法科大学院)————————————————————————————————————	—18
■ちーびし	24